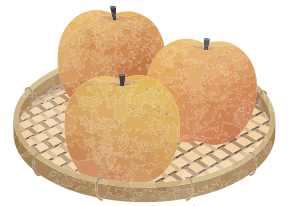




梨を食べよう！



秋の果物の代表格といえば「柿」や「ぶどう」などがありますが、「梨」も美味しいですね。

都道府県別の出荷量ランキングでは、1位「茨城県」。2位「千葉県」。3位「栃木県」。4位「福島県」。5位「鳥取県」と続き、新潟県は9位となっています。

梨には「歯ごたえ」や「甘み」が特徴のいろいろな品種があります。たとえば、シャリシャリでスッカリした味わいの「二十世紀」。やわらかくて甘い「あきづき」などなど。

出荷は8月の「幸水」から始まり、「あきづき」「二十世紀」「新高」「王秋」などと進んでいきます。

利尿作用があり、食物繊維が多く、高血圧予防にも効果があると言われているので、これからの季節、いろいろな品種を楽しんでみてはいかがでしょうか。

「Eco列車でいこう！」～第168回～ 「釜石絆の日」。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



9月16日(土)の夕刻。岩手県釜石市へ向かう。磐越道～東北道～三陸道を経由して、およそ6時間の長距離移動となるが、東北道以外は交通量が少ないので快適だ。三陸道に入ると「石巻」「南三陸」「気仙沼」「陸前高田」「大船渡」など、立ち寄って復興を応援したくなるような街が続く。

釜石市内にある息子の家に宿泊し、翌朝、三陸鉄道に乗車する。「あまちゃんラッピング」のかわいい車両の中は、観光客と地元客でにぎわっている。

「鵜住居(うのすまい)」駅で下車し、「いのちをつなぐ未来館」で津波関連の展示を見る。「生きている。」いや、「生かされている。」ありがたさを感じる。

さて、今日は「釜石絆の日」ということで、「鵜住居復興スタジアム」周辺で、いろいろなイベントが行われる。併設の「まんぷくフェス」には、美味しいものがたくさん。500匹の「さんまの塩焼き」無料配布は大人気だ。小ぶりのさんまだが、炭火で焼いているので、皮は香ばしく、身はふっくらしている。

地元食材をつまみに生ビールを飲んだ。ほろ酔い気分になっていると、スタジアムで「釜石シーウェイブスVS静岡ブルーレヴズ」によるラグビーの試合が始まった。

格上相手にシーウェイブスは苦戦したが、トライをすると応援の大漁旗が振られ、ノーサイドになると観客から惜しみない拍手が贈られた。

おだやかな秋の日、ビールを飲みながらのラグビー観戦。当たり前の幸せを感じる、いい一日だった。

翌朝、気仙沼の食堂に寄った。「まぐろ丼」を注文すると、厚切りの切り身が大量に盛り付けられて登場。最高に旨かったが、さすがに量が多すぎる。漁港の食堂恐るべし。(笑)



あまちゃんラッピング車両。



自然の中にある鵜住居復興スタジアム



気仙沼のマグロ丼(1500円)は豪華。